

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2012年 8月 12日 63

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp

twitter http://twitter.com/#!/jyuouumare



原発いらぬの
デモ用プラカード

バックナンバーは「川崎あつ子」検索でお読みいただけます

立秋をむかえ、涼しさにホッとしましたが、また暑さが戻ってきました。

野田内閣は、消費税増税、社会保障と雇用の破壊、原発再稼働、TPP推進、オスプレー配

備など内政・外交ともに、国民の利益にそむく暴走を続けています。しかし、どの問題でも国民のたたかいがわきおこり、解散・総選挙の可能性が色濃くなっています。先日、衆議院茨城

小選挙区4区日本共産党国政対策委員長の「うの周治」さんが、東海村内で政策を訴えました。

6月議会一般質問から

「再稼働をあきらめて廃炉にすることが筋だと思う」村長答弁

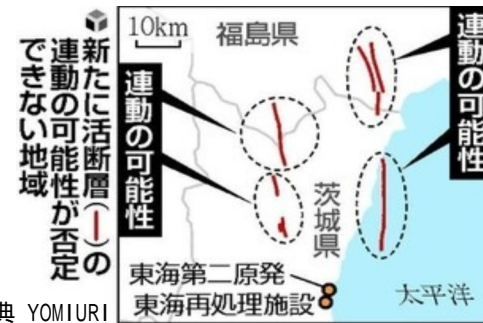
川崎 国内の原発の使用済み核燃料貯蔵量は、1万4,200t。

再処理もできず、直接処分もできない原発での貯蔵も限界。「東海第2原発は再稼働ではなく廃炉への準備を行う必要があるのではないか」。村長「本村は原発立地に適切ではない」。「原発を開発したアメリカは、日本が地震列島であることを想定していなかったのではないか」。

官邸前との連帯行動



「再稼働反対!」「子どもを守れ!」日本原電茨城総合事務所前抗議 27日(金)ごご6時から



出典 YOMIURI



3,400人が笠松につどった4.1集会

うの周治さんのあいさつ

常陸太田市で生まれ育ち、ずっと中小商工業者の暮らしと営業をまもる活動をしてきました。

経済も財政もダメにする消費税増税。農林漁業と国民の食料に大打撃を与え、医療、金融などあらゆる分野に被害を及ぼすTPP参加の阻止。30キロ圏内には100万人近い住民が暮らしており、避難のしようがない東海第二原発の再稼働は許さず、廃炉を求め、原発ゼロの日本をめざしてがんばります。国政を変えるため全力をつくします。



東海村のつどいにて

衆議院選挙比例区は日本共産党
小選挙区は個人名で投票します。

北関東に日本共産党の2議席を

原発・消費税増税・TPPノイ
日本共産党演説会
8月19日(日)午後3時開会
ワークプラザ勝田

1,000人こえる参加者 第52回茨城県母親大会in東海村

シンポジウム「原発のない社会をどうつくるか」では、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の佐藤幸子代表は、福島第1原発事故が地元や周辺の繁栄を奪ったと指摘。事故後も放射線量が高くて「安全」とする行政や学者に不信感をもつ。「子どもたちが住んでいていいのか」と不安でつる思いを語りました。村上達也村長は、原子力技術をコントロールできない国は原発を持つ資格はないと、脱原発をよびかけました。茨城大学人文学部の渋谷敦司教授は、原発で地域経済や社会が持続できないことは明かに

なったとしたうえで、命を支える医療や福祉・教育の分野、農業に重点をおいた地域振興策を提起しました。

午後の全体会では各地の代表が「原発ゼロの日本を」「東海第2原発は廃炉に」などとステージ上から訴えました。

詩人で絵本作家のアーサー・ビナードさんが記念講演し、依然として原発にしがみついている野田政権を批判。「核のきずなを、市民のきずなで断ち切り、未来ある日本列島をつくろう」とよびかけました。



アーサー・ビナードさん

放射能汚染から子どもを守るよう県に要請

10日、うの周治日本共産党衆院茨城4区予定候補、大内久美子県議、市町村議員20人と一緒に橋本昌知事あてに大震災・原発事故から子どもと地域まもる施策を知事にもとめる第7次要請があり参加しました。放射線被ばくの健康調査の実施

学校給食の食材検査体制の拡充 除染で出た廃棄物の「仮置き場」の確保 民有地の除染への支援策などを求めました。

健康調査について県は「現段階では必要ない」とこれまでの立場を説明、引き続き国に統一的な基準を示すよう求めていくと答えました。私たちは「健康調査は若いお母さんたちの切実な願い。調査しないで必要ないと言い切れるのか」と追及し、県独自の対応を強く求めました。



県関係各課(右側)に要請する
党衆院候補、県議、市町村議員(10日、茨城県庁)

**ぜひご購読ください。「他が取り上げない記事を掲載し
わかりやすい」と評判のしんぶん赤旗**

財源といえば消費税増税、環太平洋連携協定(TPP)は交渉参加をあり、橋下徹大阪市長を「改革のヒーロー」と持ち上げる財界と巨大マスコミ。時の政権、権力者に無批判に迎合し、翼賛報道に終始するあり方に批判が高まっています。そんななかで、国民にとって大事なこと、本当に知りたいことを、タブーなく伝えているのが「しんぶん赤旗」です。

芝の生育に6ヵ月~1年

村HPから お知らせ

白方小あと地公園 オープンのお知らせとお願い 皆様のご協力により、公園整備工事が完了し、6月4日(月)にオープンしました。

お願い
しばらくの間、芝生の中には入らないでください。

芝を養生させる必要があります。それまでは根が定着していないので、踏むと芝がはがれたり、枯れたりします。

また、定着していない芝を押さえるために目串(木製の小さな杭)が刺してあるので、芝生の中に入ると怪我をするおそれがあります。

芝の生育状況(6ヶ月~1年程度)を見ながら、順次開放していきますので、看板が立っている所には、入らないようにご注意ください。



整備された白方小跡地



新しい視点 展望しめす
しんぶん赤旗
日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円